

3 交通事業会計

〔概要〕

令和元年度の交通事業の運営については、「使いやすく、持続可能な地域公共交通網」を形成するため、「宇部市地域公共交通再編実施計画」に基づき、引き続き公共交通の利便性の向上を図るとともに、利用しやすい車両への更新などを実施しました。

また、運転士不足の解消のため、嘱託運転士の待遇改善や、短時間勤務等新たな就労体系を導入しました。

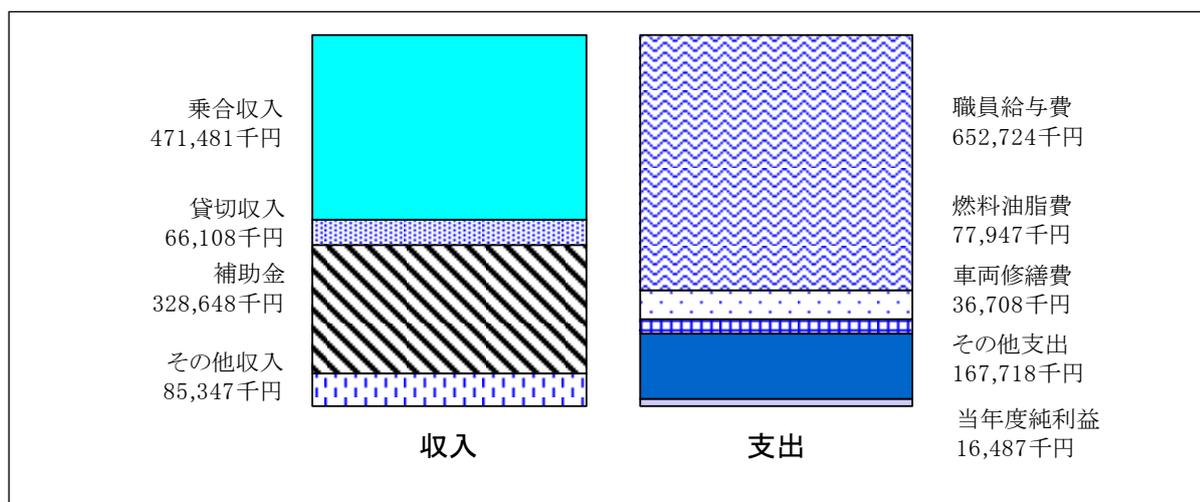
業務量については、乗合事業では、稼働バス台数は 18,022 台(前年度比 97.9%)、走行キロ数は 2,793 千km(前年度比 99.2%)、輸送人員は 2,219 千人(前年度比 97.4%)となりました。

一方、貸切事業では、稼働バス台数は 1,032 台(前年度比 67.6%)、走行キロ数は 125 千km(前年度比 58.8%)、輸送人員は 37 千人(前年度比 58.3%)となりました。

経営成績については、事業収益は 951,584 千円に、事業費用は 935,097 千円となり、収支差引の結果、当年度純利益は 16,487 千円に、また、当年度未処分利益剰余金は 34,669 千円となりました。

資本的収支については、収入は、企業債等で 36,898 千円、支出は、路線バス等 3 台の新車購入費用及び企業債償還金等で 123,438 千円となり、差引不足額 86,540 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 5,693 千円と過年度分損益勘定留保資金 80,847 千円で補てんしました。

〔収益的収支〕



〔資本的収支〕

